**５年　「自然災害を防ぐ」　（　3月　5時間　）**

**（１）小単元の目標…**この単元は学習指導要領の内容(５)のア-(ア)(エ)，イ-(ア)に基づいて行う

自然災害の様子やそれに備える国や地方自治体の取り組み，地域住民の協力について調べ，自然災害が起こりやすい日本では，国などによる防災対策や地域住民の協力が必要であることを理解し，国民一人一人が防災の意識を高めることの大切さについて考えようとする。

**（２）評価規準**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ・災害の種類や発生の位置や時期，防災対策などについて，地図帳や各種の資料で調べ，必要な情報を集め，読み取り，国土の自然災害の状況を理解している。・調べたことを文などにまとめ，自然災害は国土の自然条件などと関連して発生していることや，自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解している。 | ・災害の種類や発生の位置や時期，防災対策などに着目して，国土の自然災害の状況を考え，表現している。・国土の自然条件と災害の関連や，国や県などの防災・減災に向けた対策などを考えたり，表現したりしている。 | ・我が国の国土で発生する自然災害から国民生活を守るための対策について，予想や学習計画を立てたり、見直したりして主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。・学習したことを生かして，身近なところから，防災に取り組もうとしている。   |

**（３）知識の構造図**

**中心概念**

　自然災害の被害を減らすために，国や地方自治体，地域では様々な取り組みが行われている。国民一人一人の協力が必要であるとともに，自身の生活との関わりの中で防災を意識した行動が求められている。❹

**まとめる**

　**具体的知識**

　・自然災害から身を守るためには、防災グッズを用意したり，避難場所の確認をしたりと、自分で防災を意識する「自助」の考えが重要である。❺

　・自然災害の被害を防止するために、国や地方自治体などが砂防ダムや放水路などの対策や事業を進める公助の取り組みを行っている。❷

　・我が国では、地震や風水害、土砂災害、雪害などの自然災害が、毎年のようにどこかで起きており，その度に甚大な被害が出ている。

❶

　・地域の人々が力を合わせ、防災訓練をしたり、避難場所を整備したりして、自然災害の被害を少しでも減らそうと共助の取り組みが行われている。❸

・津波避難マップ

・津波記念碑

・砂防ダム

・防災

・東日本大震災

・自然災害

・防災グッズ

・ハザードマップ

・避難経路

**用語・語句**

**問題解決的な学習の過程**

**いかす**

**調べる**

**つかむ**

**（４）指導計画**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習過程 | 　　　　　主発問　　　　　主な学習活動・内容 | 　　　□指導上の留意点☆評価計画 | 資料 |
| 　　学習問題をつかむ（１時間） | 　ニュースなどで見たことのある災害について話し合ったり，近年日本で起きた自然災害について調べたりして，学習問題をつくりましょう。❶①ニュースで見たり聞いたりしたことのある災害について発表し合う。②日本の白地図に，自然災害の発生地，種類，年をまとめる。③我が国で近年起こった自然災害を発表し合う。④自然災害の種類の多さと，その被害の大きさを知る。⑤「神影地区の人の話」「釜石の奇跡」等，大規模な災害にも関わらず多くの人の命が助かった事例を知る。**学習問題**自然災害から命を守るために，地方自治体やわたしたちの住んでいる地域では，どのような取り組みが行われているのだろうか。⑥学習問題について予想を立て，学習計画を立てる。［調べること］・国や都道府県，市町村の取り組み　・わたしたちの住んでいる地域（学区）の取り組み・わたしたちにできること | □毎年大きな自然災害が発生していること，自然災害には様々な種類があること，発生場所は全国に分布していること，多くの人が命を落としていることに気付かせる。□神影地区では2005年の台風で家屋の被害は甚大であったにも関わらず犠牲者は一人も出なかったこと，釜石市では東日本大震災で大津波に襲われながらも，小中学生の犠牲者はほとんどいなかったことに気付かせる。□災害から人々を守るためのものが作られたのではないか，避難訓練の成果が出たのではないか，一人一人が自然災害に備えるようになったのではないか等，具体的に予想させる。☆我が国の自然災害について関心を持ち，資料から読み取ったことを，白地図に整理している。《主体的に学習に取り組む態度》 | ・東日本大震災の震源と津波による被災地域の地図・東日本大震災関連の新聞記事・様々な自然災害の写真・映像資料 |
| 　　　　　　　　学習問題について調べる（２時間）…　見学❸　　　　　　　　　　　　　　　調べる（８時間） | 　国や都道府県では，自然災害から人々の命を守るために，どのような取り組みが行われているのでしょうか。❷①それぞれの自然災害から命を守るための国や都道府県，市町村の対策や事業を調べ，わかったことを発表する。②学習した内容（国や都道府県，市町村の対策や事業）をもとに，自分たちが住む地域の自然災害対策への関心を高める。　国や都道府県では，自然災害から人々の命を守るために，砂防ダムや首都圏外郭放水路，河川防災ステーション，緊急地震速報などの取り組みが行われている。 | □公助と共助の大まかな区別をつけられるようにする。（公助＝国や地方自治体による取り組み　共助＝近隣が互いに助け合って地域を守ること）□教科書・資料集に載っているものについて，自分たちが住む地域はどうなのかという疑問を喚起し，ゲストティーチャーの話を聞く際の視点とする。☆国や地方公共団体が様々な対策や事業を行っていること，国民一人一人の協力や防災意識の向上が大切であることを理解している。　　　　　　　　　　　　　　《知識・技能》 | ・防災施設　の写真 |
| わたしたちが住んでいる地域では，自然災害から人々の命を守るために，どのような取り組みが行われているのでしょうか。❸①地域防災担当の方などゲストティーチャーを招き，自然災害から命を守るための地域の取り組みの話を聞き防災倉庫などを見学する。また，地域の防災の取り組みについて質問をして答えてもらう。　わたしたちが住んでいる地域では，自然災害から人々の命を守るために，防災倉庫の管理，一時避難場所の設定，ハザードマップの作成，町内防災訓練などの取り組みが行われている。 | □町内の防災について困っていること（地域住民の防災意識など）について話をしてもらい，一人一人が日頃から防災についての意識を持つことの大切さに気付かせる。☆国や地方公共団体が様々な対策や事業を行っていること，地域の人々の取り組みについてゲストティーチャーの話から聞き取り，まとめている。　　　《知識・技能》 | ・防災倉庫備蓄物品一覧・ハザードマップ・町内防災訓練の写真 |
| 学習過程 | 　　　　　主発問　　　　　主な学習活動・内容 | □指導上の留意点☆評価計画 | 資料 |
| 学習問題をまとめる（１時間） | 　自然災害から命を守るための取り組みを，整理して，まとめよう。❹①これまでの学習を振り返り，防災のための様々な取り組みを「公助」「共助」に分類する。　自然災害の被害を減らすために，国や地方自治体，地域では様々な取り組みが行われている。国民一人一人の協力が必要であるとともに，自身の生活との関わりの中で防災を意識した行動が求められている。 | □ノートに書かせたのち，自分の考えを短冊に書かせて黒板に貼らせる。☆公助のしくみを利用しながら，まわりの人と協力して日ごろから災害に備えたり，防災意識を高めたりすることが大切であることをまとめている。　　《知識・技能》 | ・これまで使用した資料・資料集・3,11から未来へ・防災グッズ一覧・ハザードマップ・避難経路図 |
| いかす（１時間） | 　自然災害から命を守るために，わたしたちができることを話し合いましょう。❺①これまで学習してきて，自然災害から命を守るために必要だと考えたことを発表する防災会議を開く。　公助，共助，自助の仕組み全てがしっかりと関わり合って初めて自然災害から命を守れるようになる。私たちは自然災害から命を守るために，公助，共助の仕組みをよく理解した上で，自分たちで出来ることをやることが大切になってくる。 | □一時避難場所を広く知らせる，家族と話し合って避難場所と避難経路を決める，地域全体のハザードマップも作る，学校の防災倉庫に入れてほしいものをまとめる，必要な防災グッズを考える等の話し合いを行う。□相手の意見に対する質問や感想，考えを述べる場を設ける。☆これまで学習したことを踏まえ，地域の防災の課題について，自分の考えを述べることができている。《主体的に学習に取り組む態度》 | ・これまで使用した資料・資料集・3,11から未来へ・防災グッズ一覧・ハザードマップ・避難経路図 |

**（５）ワークシート**

**①自然災害から命を守るための取り組み**

児童の予想を公助，共助に分類して公助，共助について説明する。調べて分かったことをもとに「わたしたちが住む地域はどうなのか」という疑問を持たせる

ポイント

|  |  |
| --- | --- |
| 公助 | 共助 |
| 土砂災害 | ・砂防ダム・崖崩れ対策・コンクリート舗装 | ・防災訓練・水防訓練・一軒一軒回り，一緒に避難場所へ行く。・お年寄りの避難を想定し，リヤカーや担架の用意 |
| 洪水 | ・放水路・防災マップ | ・用水路の整備 |
| 津波 | ・避難やぐら・堤防・津波情報伝達システム | ・避難にかかる時間を少しでも短くするために避難場所を倍増・暗くても避難しやすいように明かりを設置・避難場所をより高台へ・避難訓練を行い，実際に避難してみて，課題を確認する。 |
| 地震 | ・緊急地震速報 |

調べ学習で学んだ公助，共助の仕組みについて，自分たちが住んでいる地域の実状を見学したり，聞いたりする。その上で，地域の課題発見に繋がるようにする。

ポイント

**②見学メモ**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 自分で調べる | 地域防災担当の人に確かめる | その他 |
| 防災マップ | 備蓄物品 | 避難場所 | 防災訓練 | 避難勧告 |  |
| ・いくつかの町内会では作っているが，学区全体のものは現在作成中 | ・市民センターや学校の防災倉庫に避難用具・それぞれの町内会でも備蓄している | ・避難やぐら3階建てで音楽室くらいの広さ。 | ・5年前から行われている。11月に小学校の校庭や体育館で避難訓練や防災用具の使い方を学ぶ | ・消防署の方が消防車で学区を回り，避難を呼びかける。・避難を放送するスピーカーもある |

仙台市の防災：http://www.city.sendai.jp/kurashi/anzen/saigaitaisaku/index.html